

第 45 回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

～ 景況感は 2 期ぶりに改善。先行きは依然慎重な見通し ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が 0.9（前回調査比 14.2 ポイント上昇）と 2 期ぶりに改善し、4 期ぶりにプラスに転じた。「各種D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」「資金繰り」が改善し、「人員人手」はプラス幅が拡大した。
- **業種別**に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、建設業と卸・小売業では 3 期連続の改善となったほか、製造業とサービス業でも 2 期ぶりの改善となり、再びプラスに転じた。
- **地域別**に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲12.7（前回調査比 10.0 ポイント上昇）、中央が 11.9（同 11.9 ポイント上昇）、県南が▲11.1（同 19.1 ポイント上昇）となり、中央が 4 期ぶりにプラスに転じるなど、すべての地域で改善となった。
- **先行き見通し**は、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲11.5（今回調査比 12.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

【 特別調査 】

- **今年度の設備投資動向**についてうかがったところ、今年度中に設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は 38.6%（昨年度比 2.3 ポイント下落）と、2 期ぶりに低下した。
設備投資を「実施する（した）」と回答した企業 1 社あたりの平均投資額（予定含む）は 7,670 万円で、昨年度の調査時点に比べて 1,980 万円増加した。

株式会社フィデア情報総研

目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別 D I 値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別 D I 値の動向	8
① 県北	8
② 中央	9
③ 県南	10
II. 景気の天気予報図	11
III. 特別調査	12
1. 今年度の設備投資動向	12
(1) 設備投資動向	12
(2) 設備投資金額	14
(3) 設備投資目的	15
<参考資料 I : 業種別・地域別回答率>	17
<参考資料 II : 調査の概要>	17

I. 県内企業の業況

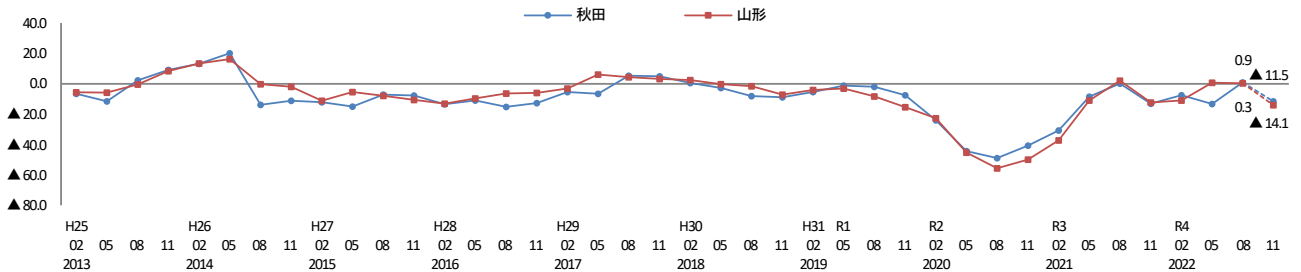
1. 概況

～ 景況感は 2 期ぶりに改善。先行きは依然慎重な見通し ～

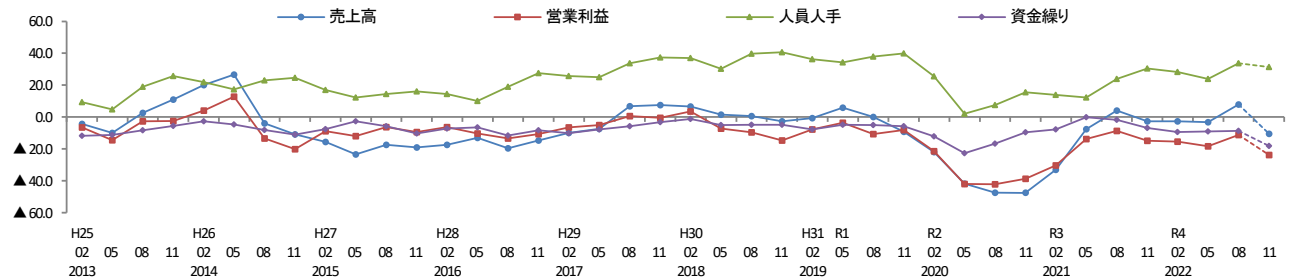
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が 0.9（前回調査比 14.2 ポイント上昇）と 2 期ぶりに改善し、4 期ぶりにプラスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」「資金繰り」が改善し、「人員人手」はプラス幅が拡大した。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲11.5（今回調査比 12.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。新型コロナウイルス第 7 波の影響に加え、円安に伴う原材料や燃料費の高騰や高止まりの影響もあり、依然慎重な見通しとなっている。

図表 1 全業種「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2021.08 (n=364)	0.2	8.7	▲ 22.8	4.1	▲ 8.8	23.9	▲ 1.9
2021.11 (n=361)	▲ 13.0	▲ 13.2	▲ 15.1	▲ 2.8	▲ 15.0	30.5	▲ 7.0
2022.02 (n=370)	▲ 7.6	5.4	▲ 9.1	▲ 2.7	▲ 15.4	28.2	▲ 9.4
2022.05 (n=353)	▲ 13.3	▲ 5.7	▲ 25.7	▲ 3.2	▲ 18.4	23.8	▲ 9.1
2022.08 (n=347)	0.9	(14.2)	▲ 15.3	7.8	▲ 11.2	33.7	▲ 8.7
前回調査比	-	-	-	(11.0)	(7.2)	(9.9)	(0.4)
先行き見通し	▲ 11.5	-	-	▲ 10.6	▲ 23.9	31.4	▲ 18.2
今回調査比	(▲ 12.4)	-	-	(▲ 18.4)	(▲ 12.7)	(▲ 2.3)	(▲ 9.5)

※ 「売上高」 D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

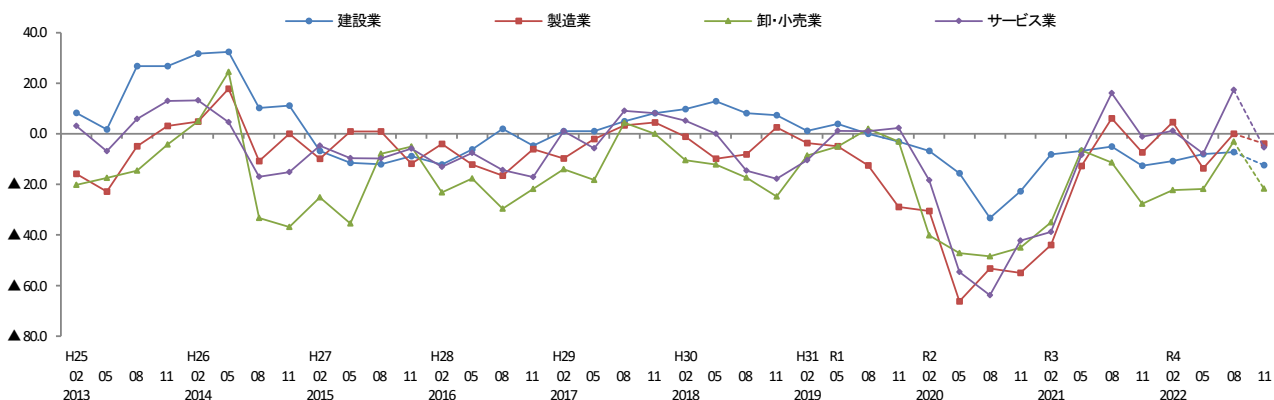
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業と卸・小売業では 3 期連続の改善となったほか、製造業とサービス業でも 2 期ぶりの改善となり、再びプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、4 業種すべてで悪化の見通しとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

見通し

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2021.08 (n=364)	0.2	▲ 5.1	6.1	▲ 11.4	16.1
2021.11 (n=361)	▲ 13.0	▲ 12.6	▲ 7.3	▲ 27.7	▲ 1.2
2022.02 (n=370)	▲ 7.6	▲ 10.8	4.6	▲ 22.3	1.2
2022.05 (n=353)	▲ 13.3	▲ 8.0	▲ 13.7	▲ 21.8	▲ 7.8
2022.08 (n=347)	0.9	▲ 7.2	0.0	▲ 3.1	17.3
前回調査比	(14.2)	(0.8)	(13.7)	(18.7)	(25.1)
先行き見通し	▲ 11.5	▲ 12.4	▲ 3.9	▲ 21.7	▲ 5.4
今回調査比	(▲ 12.4)	(▲ 5.2)	(▲ 3.9)	(▲ 18.6)	(▲ 22.7)

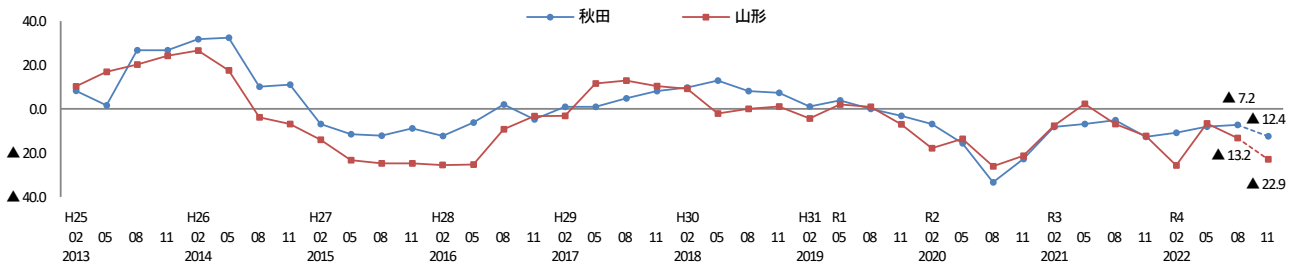
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

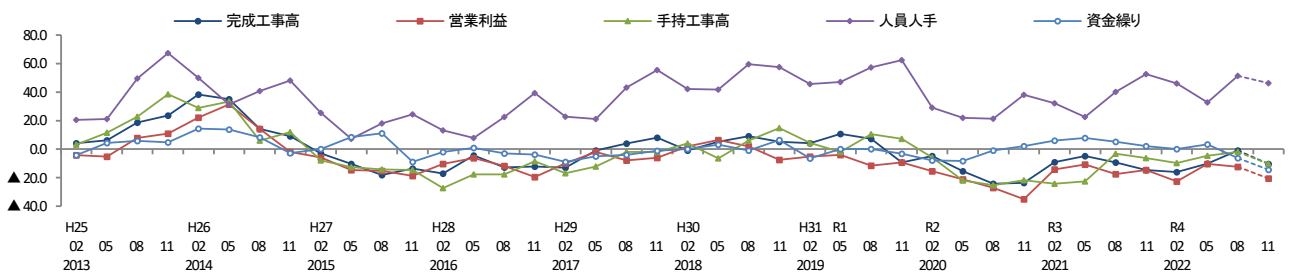
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲7.2（前回調査比 0.8 ポイント上昇）と、小幅ながら 3 期連続で改善した。「各種 D I 値（前年同期比）」では「営業利益」と「資金繰り」が悪化となった一方、「完成工事高」と「手持工事高」は改善となった。また、「人員人手」は 3 期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、資材価格の高騰や燃料費の上昇のほか、資材や設備機器の納期遅延が収益に影響を及ぼしている状況が引き続きうかがえた。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲12.4（今回調査比 5.2 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

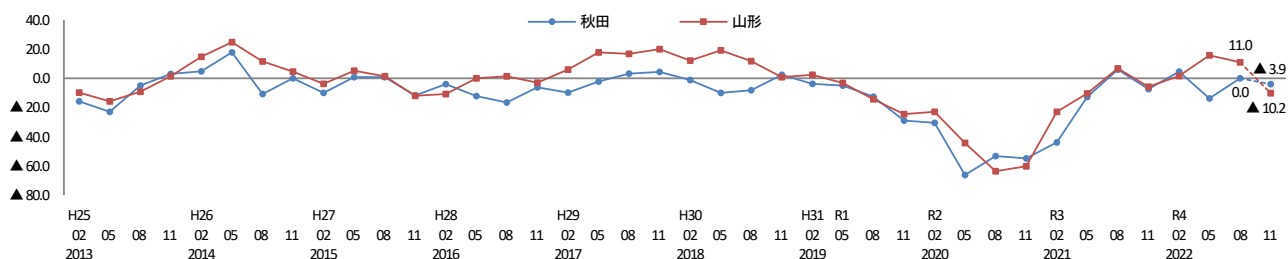
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
2021.08 (n=97)	▲ 5.1	1.7	▲ 19.6	▲ 9.3	▲ 17.5	▲ 3.1	40.2	5.2
2021.11 (n=95)	▲ 12.6	▲ 7.5	▲ 20.7	▲ 14.7	▲ 14.7	▲ 6.3	52.6	2.1
2022.02 (n=93)	▲ 10.8	1.8	▲ 13.7	▲ 16.1	▲ 22.6	▲ 9.7	46.2	0.0
2022.05 (n=88)	▲ 8.0	2.8	▲ 22.6	▲ 10.2	▲ 10.3	▲ 4.6	32.9	3.4
2022.08 (n=97)	▲ 7.2	(0.8)	▲ 25.0	▲ 1.0	▲ 12.4	▲ 2.0	51.5	▲ 6.2
前回調査比	-	-	-	(9.2)	(▲ 2.1)	(2.6)	(18.6)	(▲ 9.6)
先行き見通し	▲ 12.4	-	-	▲ 10.3	▲ 20.6	▲ 10.3	46.4	▲ 14.4
今回調査比	(▲ 5.2)	-	-	(▲ 9.3)	(▲ 8.2)	(▲ 8.3)	(▲ 5.1)	(▲ 8.2)

② 製造業

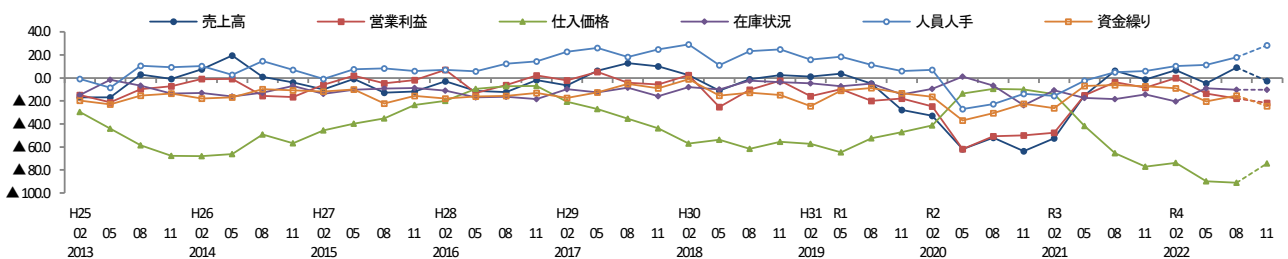
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は0.0（前回調査比 13.7 ポイント上昇）と改善となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「営業利益」「仕入価格」「在庫状況」がいずれも悪化した一方、「売上高」が2期ぶりにプラスに転じ、「資金繰り」も4期ぶりの改善となった。また、「人員人手」はプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、電子部品などが好調を維持しているものの、総じてみれば原材料やエネルギー価格上昇の影響が引き続き色濃くうかがえたほか、新型コロナウイルス第7波の影響を挙げるコメントが多く見られた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲3.9（今回調査比 3.9 ポイント下落）と小幅ながら悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

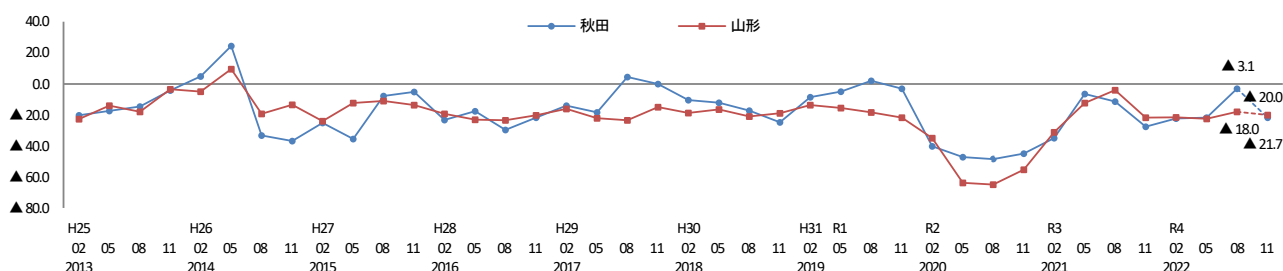
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2021.08 (n=81)	6.1	18.9	▲ 11.6	6.2	▲ 3.7	▲ 65.4	▲ 18.5	4.9	▲ 6.2
2021.11 (n=83)	▲ 7.3	▲ 13.4	▲ 3.7	▲ 1.3	▲ 8.5	▲ 77.1	▲ 14.4	6.0	▲ 7.2
2022.02 (n=88)	4.6	11.9	▲ 2.4	6.8	0.0	▲ 73.9	▲ 20.4	10.3	▲ 9.1
2022.05 (n=88)	▲ 13.7	▲ 18.3	▲ 26.1	▲ 4.6	▲ 13.6	▲ 89.8	▲ 9.1	11.4	▲ 20.4
2022.08 (n=78)	0.0	(13.7)	▲ 8.0	9.0	▲ 17.9	▲ 91.0	▲ 10.2	18.0	▲ 15.4
前回調査比	-	-	-	(13.6)	(▲ 4.3)	(▲ 1.2)	(▲ 1.1)	(6.6)	(5.0)
先行き見通し	▲ 3.9	-	-	▲ 2.6	▲ 21.8	▲ 74.3	▲ 10.2	28.3	▲ 24.4
今回調査比	(▲ 3.9)	-	-	(▲ 11.6)	(▲ 3.9)	(16.7)	(0.0)	(10.3)	(▲ 9.0)

③ 卸・小売業

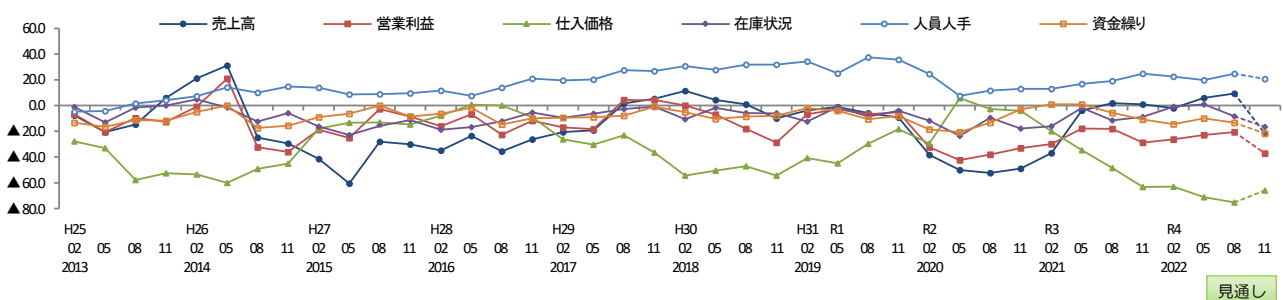
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲3.1（前回調査比 18.7 ポイント上昇）と 3 期連続で改善となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「仕入価格」「在庫状況」「資金繰り」が悪化となった一方、「売上高」と「営業利益」はともに改善した。また、「人員人手」は 3 期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、売上高の増加はあるものの、仕入価格や燃料費等の上昇による収益への影響がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲21.7（今回調査比 18.6 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

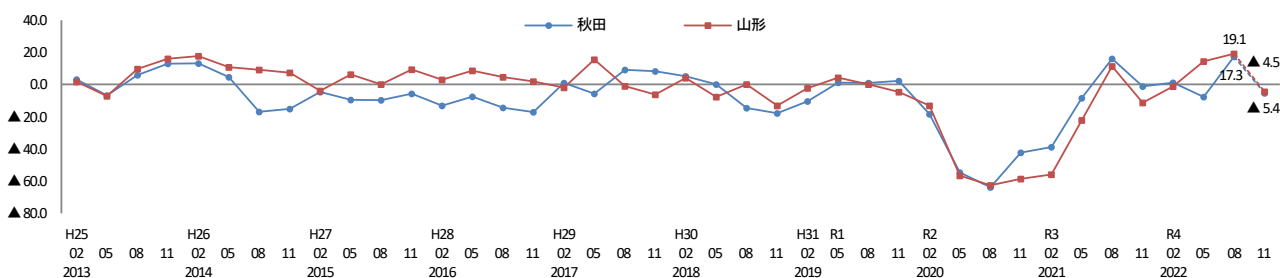
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2021.08 (n=105)	▲ 11.4	▲ 4.9	▲ 28.0	1.9	▲ 18.1	▲ 48.6	▲ 11.5	19.1	▲ 5.7
2021.11 (n=101)	▲ 27.7	▲ 16.3	▲ 20.9	1.0	▲ 28.7	▲ 63.3	▲ 8.9	24.7	▲ 10.9
2022.02 (n=103)	▲ 22.3	5.4	▲ 16.8	▲ 2.0	▲ 26.2	▲ 63.1	▲ 0.9	22.4	▲ 14.5
2022.05 (n=101)	▲ 21.8	0.5	▲ 33.0	5.9	▲ 22.8	▲ 71.3	1.0	19.8	▲ 9.9
2022.08 (n= 97)	▲ 3.1	(18.7)	▲ 23.8	9.3	▲ 20.7	▲ 75.3	▲ 8.3	24.7	▲ 13.4
前回調査比	-	-	-	(3.4)	(2.1)	(▲ 4.0)	(▲ 9.3)	(4.9)	(▲ 3.5)
先行き見通し	▲ 21.7	-	-	▲ 21.7	▲ 37.1	▲ 66.0	▲ 16.5	20.6	▲ 21.7
今回調査比	(▲ 18.6)	-	-	(▲ 31.0)	(▲ 16.4)	(9.3)	(▲ 8.2)	(▲ 4.1)	(▲ 8.3)

④ サービス業

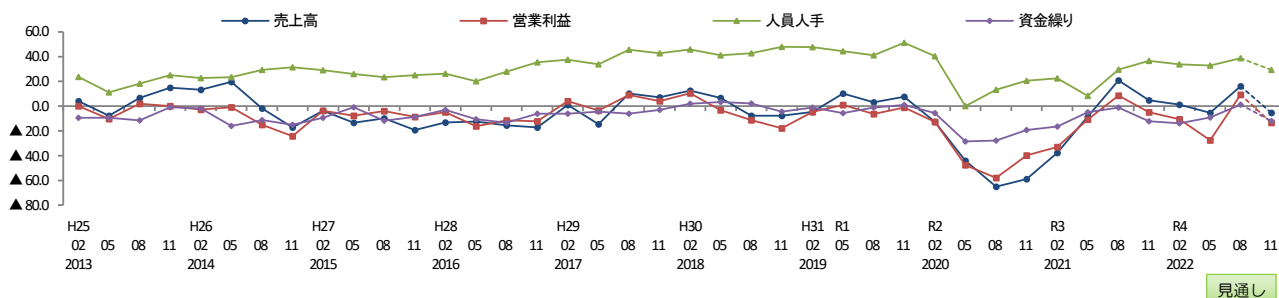
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は17.3（前回調査比25.1ポイント上昇）と大幅に改善した。「各種D I 値（前年同期比）」で見ると、すべての項目が改善し、「人員人手」も3期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、新型コロナウイルス第7波の感染再拡大や燃料費等の価格上昇の影響がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲5.4（今回調査比22.7ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



図表 11 サービス業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2021.08 (n=81)	16.1	24.5	▲ 31.4	20.9	8.6	29.6	▲ 1.2
2021.11 (n=82)	▲ 1.2	▲ 17.3	▲ 12.3	4.8	▲ 4.8	36.6	▲ 12.2
2022.02 (n=86)	1.2	2.4	▲ 1.2	1.2	▲ 10.5	33.7	▲ 13.9
2022.05 (n=76)	▲ 7.8	▲ 9.0	▲ 19.8	▲ 5.3	▲ 27.6	32.9	▲ 9.2
2022.08 (n=75)	17.3	(25.1)	▲ 1.3	16.0	9.3	38.6	1.3
前回調査比	-	-	-	(21.3)	(36.9)	(5.7)	(10.5)
先行き見通し	▲ 5.4	-	-	▲ 5.3	▲ 13.4	29.3	▲ 12.0
今回調査比	(▲ 22.7)	-	-	(▲ 21.3)	(▲ 22.7)	(▲ 9.3)	(▲ 13.3)

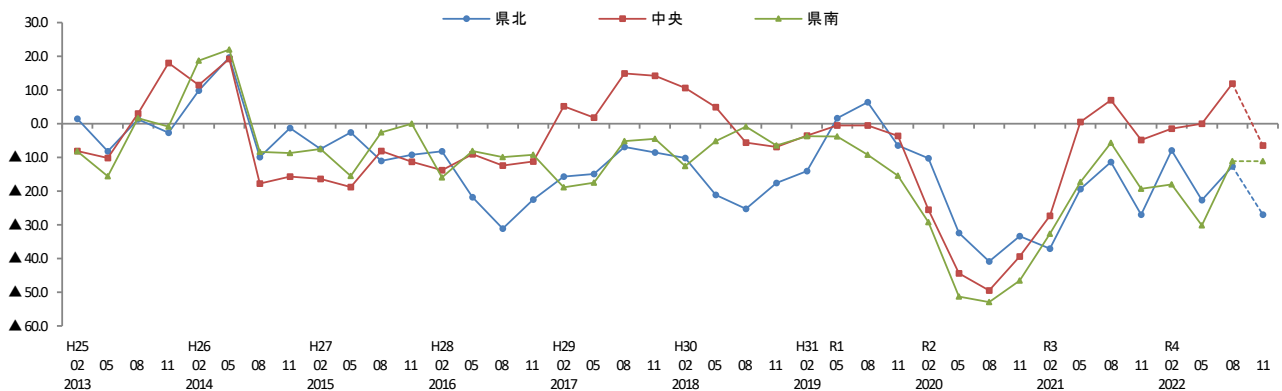
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北が▲12.7（前回調査比 10.0 ポイント上昇）、中央が 11.9（同 11.9 ポイント上昇）、県南が▲11.1（同 19.1 ポイント上昇）となり、中央が 4 期ぶりにプラスに転じるなど、すべての地域で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県南では横這い、県北と中央では悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

見通し

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2021.08 (n=364)	0.2	▲ 11.4	7.0	▲ 5.7
2021.11 (n=361)	▲ 13.0	▲ 27.0	▲ 4.8	▲ 19.3
2022.02 (n=370)	▲ 7.6	▲ 7.9	▲ 1.5	▲ 18.0
2022.05 (n=353)	▲ 13.3	▲ 22.7	0.0	▲ 30.2
2022.08 (n=347)	0.9	▲ 12.7	11.9	▲ 11.1
前回調査比	(14.2)	(10.0)	(11.9)	(19.1)
先行き見通し	▲ 11.5	▲ 27.0	▲ 6.5	▲ 11.1
今回調査比	(▲ 12.4)	(▲ 14.3)	(▲ 18.4)	(0.0)

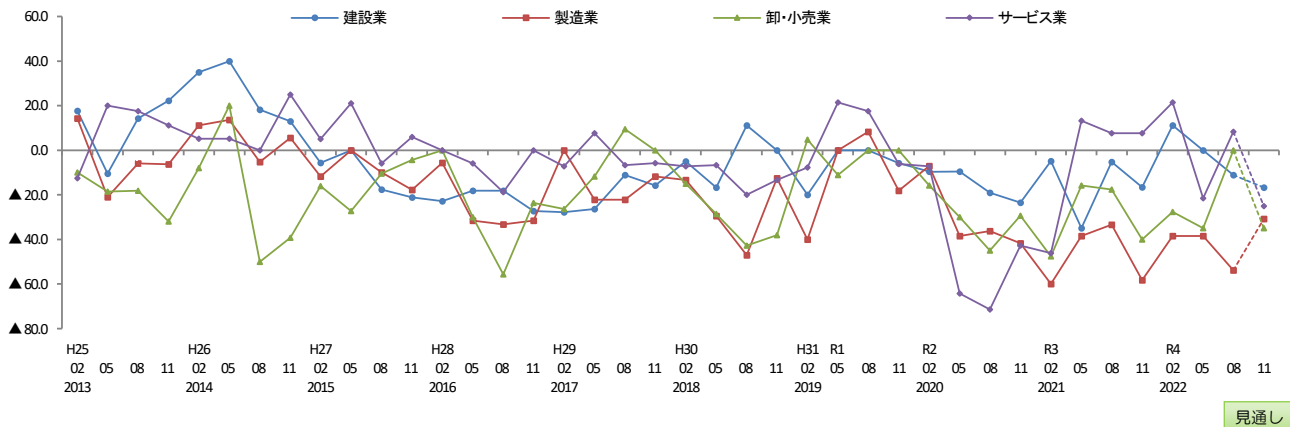
(2) 地域別 D I 値の動向

① 県北

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲12.7（前回調査比 10.0 ポイント上昇）と 2 期ぶりの改善となった。業種別では、卸・小売業とサービス業で改善となった一方、建設業と製造業ではともに悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲27.0（今回調査比 14.3 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、製造業で改善が見込まれている一方、その他の 3 業種ではいずれも悪化が見込まれている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

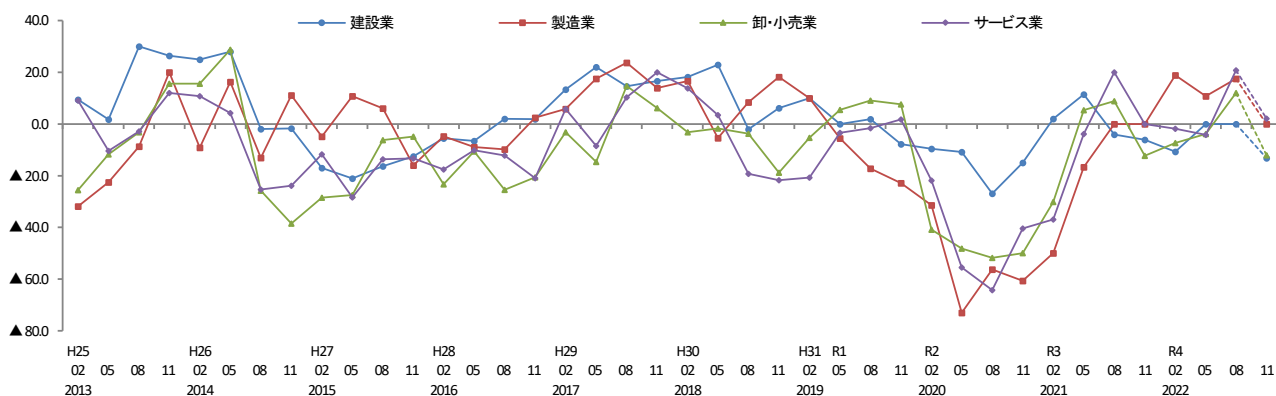
県北 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2021.08 (n=61)	▲ 11.4	▲ 5.3	▲ 33.4	▲ 17.6	7.7
2021.11 (n=63)	▲ 27.0	▲ 16.6	▲ 58.3	▲ 40.0	7.7
2022.02 (n=63)	▲ 7.9	11.1	▲ 38.4	▲ 27.7	21.5
2022.05 (n=66)	▲ 22.7	0.0	▲ 38.4	▲ 35.0	▲ 21.5
2022.08 (n=63)	▲ 12.7	▲ 11.1	▲ 53.8	0.0	8.3
前回調査比	(10.0)	(▲ 11.1)	(▲ 15.4)	(35.0)	(29.8)
先行き見通し	▲ 27.0	▲ 16.7	▲ 30.8	▲ 35.0	▲ 25.0
今回調査比	(▲ 14.3)	(▲ 5.6)	(23.0)	(▲ 35.0)	(▲ 33.3)

② 中央

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 11.9（前回調査比 11.9 ポイント上昇）と 3 期連続で改善となった。業種別では、建設業が横這いとなったものの、サービス業など他の 3 業種ではいずれも改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲6.5（今回調査比 18.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、4 業種すべてで悪化が見込まれている。

図表 14 中央業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

見通し

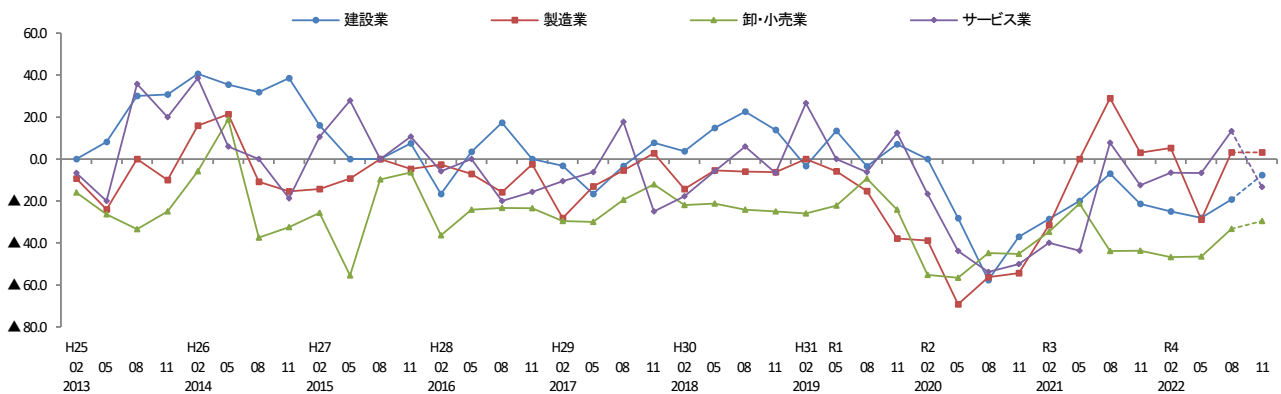
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2021.08 (n=198)	7.0	▲ 4.1	0.0	8.9	20.0
2021.11 (n=189)	▲ 4.8	▲ 6.1	0.0	▲ 12.3	0.0
2022.02 (n=196)	▲ 1.5	▲ 10.7	18.9	▲ 7.3	▲ 1.8
2022.05 (n=181)	0.0	0.0	10.8	▲ 3.8	▲ 4.2
2022.08 (n=185)	11.9	0.0	17.6	12.0	20.8
前回調査比	(11.9)	(0.0)	(6.8)	(15.8)	(25.0)
先行き見通し	▲ 6.5	▲ 13.2	0.0	▲ 12.0	2.1
今回調査比	(▲ 18.4)	(▲ 13.2)	(▲ 17.6)	(▲ 24.0)	(▲ 18.7)

③ 県南

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲11.1（前回調査比 19.1 ポイント上昇）と 2 期ぶりの改善となった。業種別にみると、サービス業など 4 業種すべてで改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲11.1（今回調査比 0.0 ポイント）と横這いが見込まれている。業種別では製造業では横這い、建設業と卸・小売業では改善が見込まれる一方、サービス業では悪化の見通しとなっている。

図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移

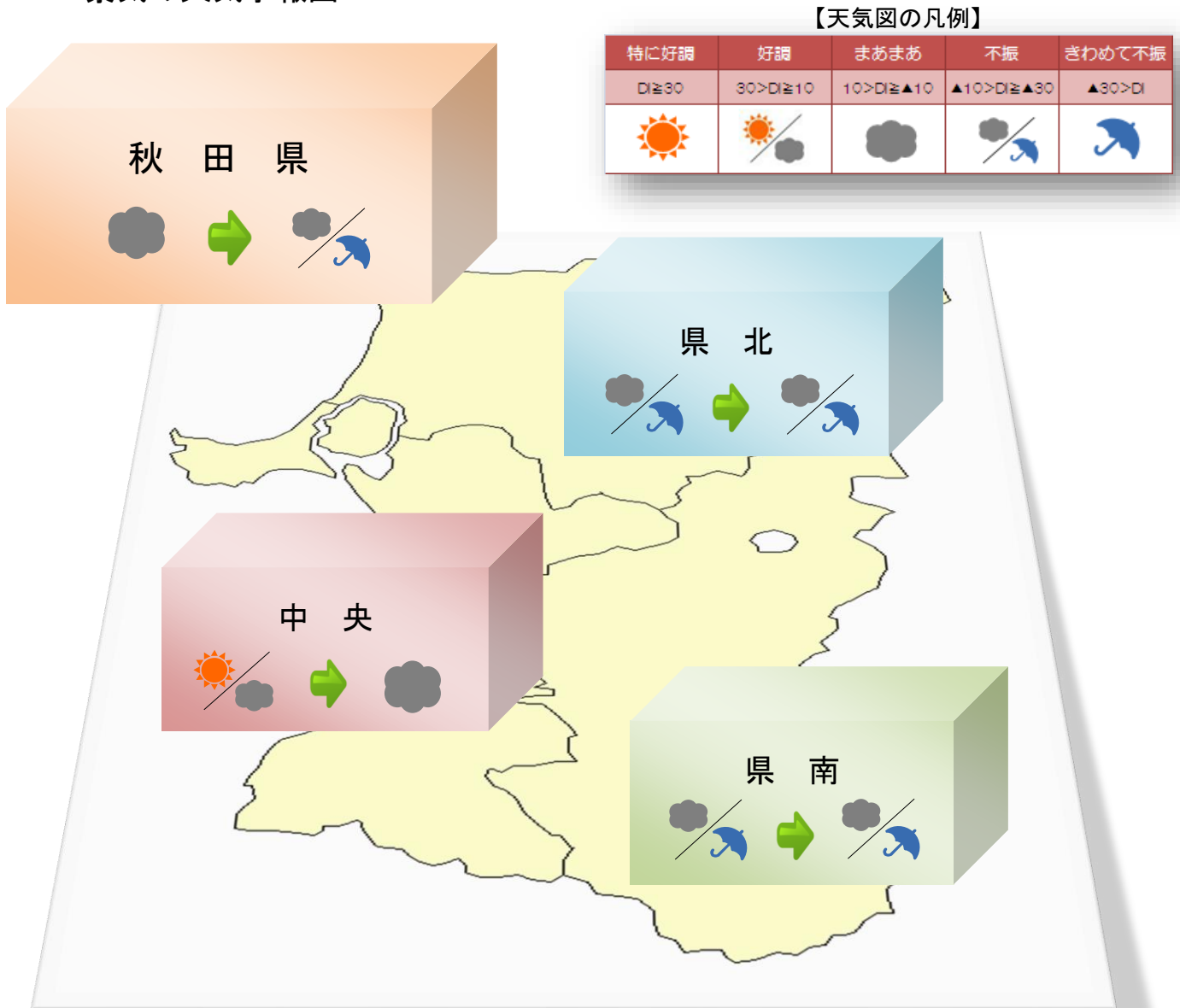


前年同期比の自社業況 D I 値

見通し

県南 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2021.08 (n=105)	▲ 5.7	▲ 6.9	29.0	▲ 43.8	7.7
2021.11 (n=109)	▲ 19.3	▲ 21.4	3.0	▲ 43.7	▲ 12.5
2022.02 (n=111)	▲ 18.0	▲ 25.0	5.3	▲ 46.7	▲ 6.6
2022.05 (n=106)	▲ 30.2	▲ 28.0	▲ 28.9	▲ 46.4	▲ 6.7
2022.08 (n= 99)	▲ 11.1	▲ 19.3	3.2	▲ 33.3	13.3
前回調査比	(19.1)	(8.7)	(32.1)	(13.1)	(20.0)
先行き見通し	▲ 11.1	▲ 7.7	3.2	▲ 29.6	▲ 13.3
今回調査比	(0.0)	(11.6)	(0.0)	(3.7)	(▲ 26.6)

Ⅱ. 景気の天気予報図



今期の概況

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

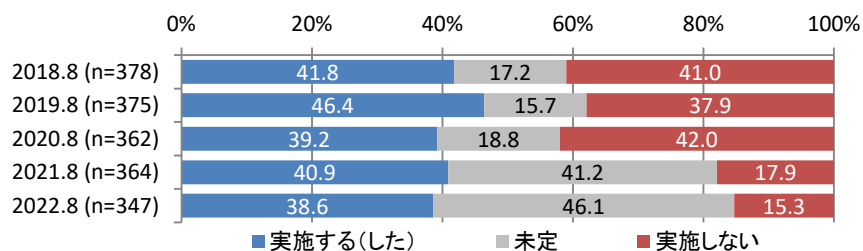
Ⅲ. 特別調査

1. 今年度の設備投資動向

(1) 設備投資動向

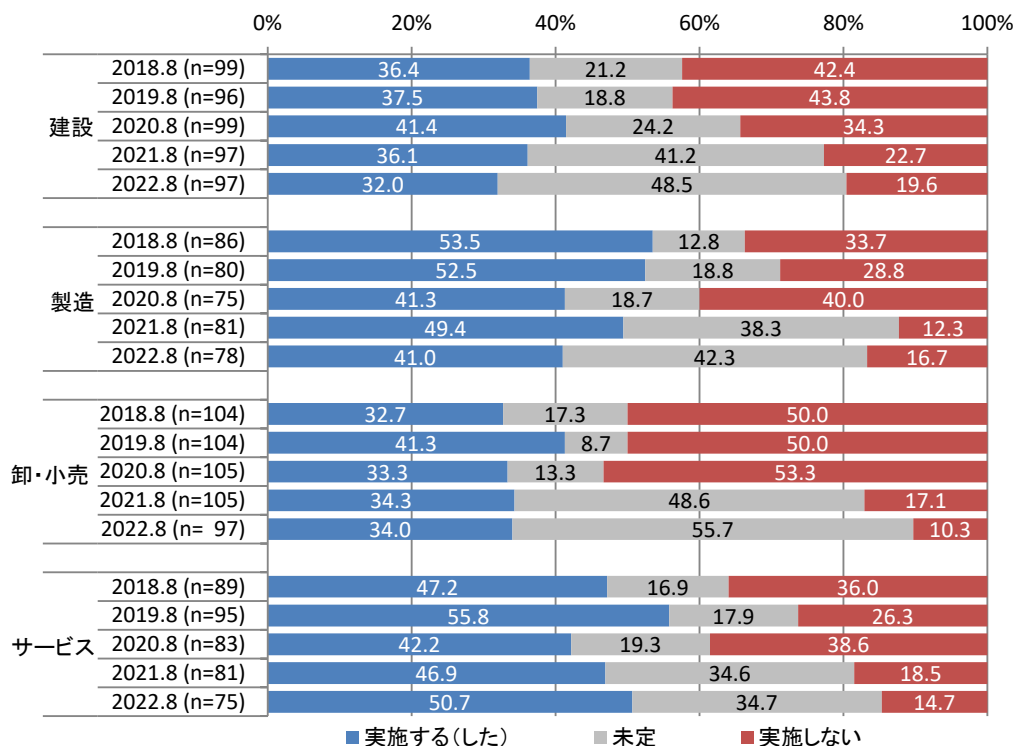
今年度中に設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は 38.6%（昨年度比 2.3 ポイント下落）と、2 期ぶりに低下した。一方、「実施しない」企業の割合は 15.3%（同 2.6 ポイント低下）と 2 期連続の低下となった。また、「未定」企業の割合は 46.1%（同 4.9 ポイント上昇）と 3 期連続で上昇した。

図表 16 「設備投資動向」の推移



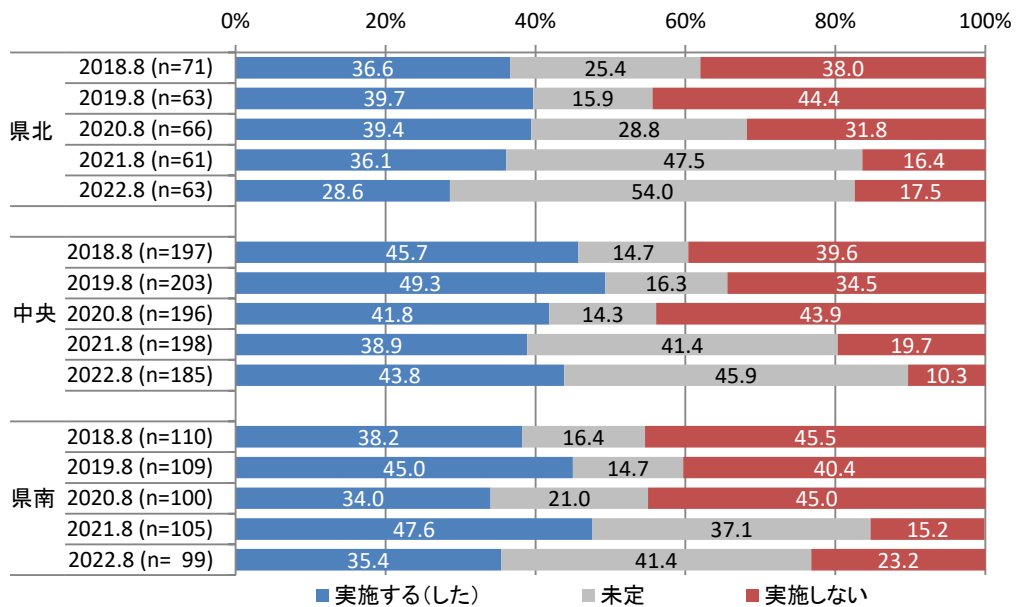
業種別にみると、設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は、サービス業で上昇した一方、その他の 3 業種ではいずれも低下となった。最も割合が高いのはサービス業で、50.7%（昨年度比 3.8 ポイント上昇）と 5 割台となった。

図表 17 業種別「設備投資動向」の推移



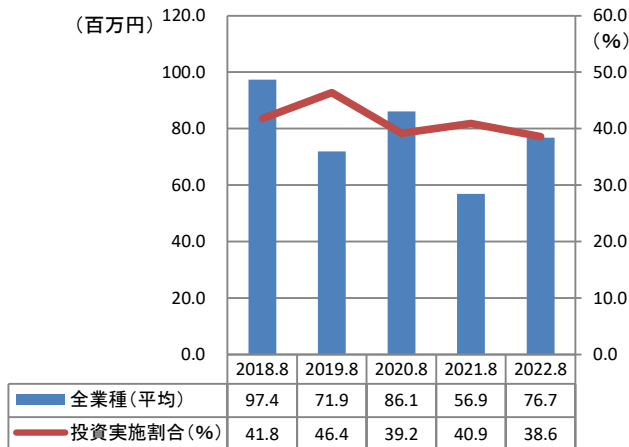
地域別にみると、設備投資を「実施する(した)」と回答した企業の割合は、中央では 43.8% (昨年度比 4.9 ポイント上昇) と上昇した一方、県北 (28.6%) と県南 (35.4%) では低下した。

図表 18 地域別「設備投資動向」の推移



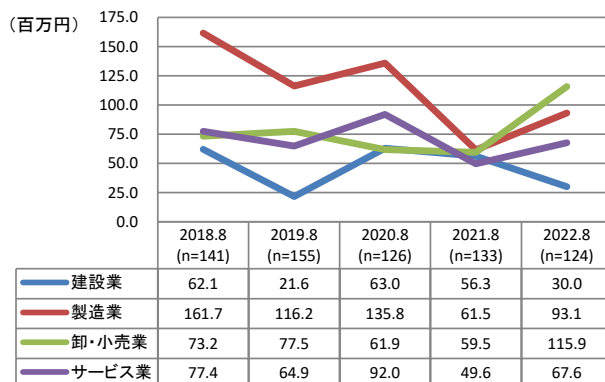
(2) 設備投資金額

図表 19 全業種「設備投資金額と実施割合」の推移



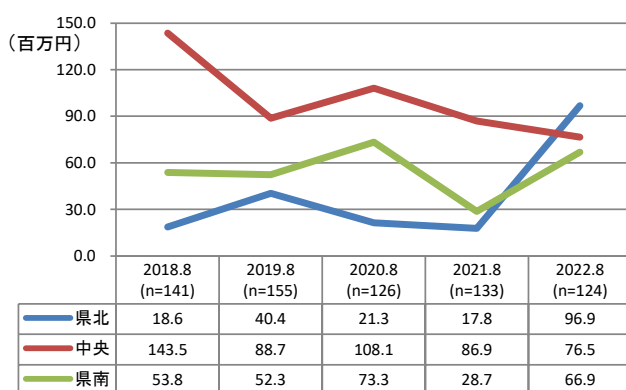
設備投資を「実施する(した)」と回答した企業に投資額を尋ねたところ、1社あたり平均投資額(予定含む)は7,670万円で、昨年度の調査時点に比べて1,980万円増加した。

図表 20 業種別「設備投資金額」の推移



1社あたり平均投資額を業種別にみると、建設業では3,000万円(昨年度調査比2,630万円減)、製造業では9,310万円(同3,160万円増)、卸・小売業では11,590万円(同5,640万円増)、サービス業では6,760万円(同1,800万円増)となり、建設業で減少した一方、その他の3業種では増加となった。

図表 21 地域別「設備投資金額」の推移



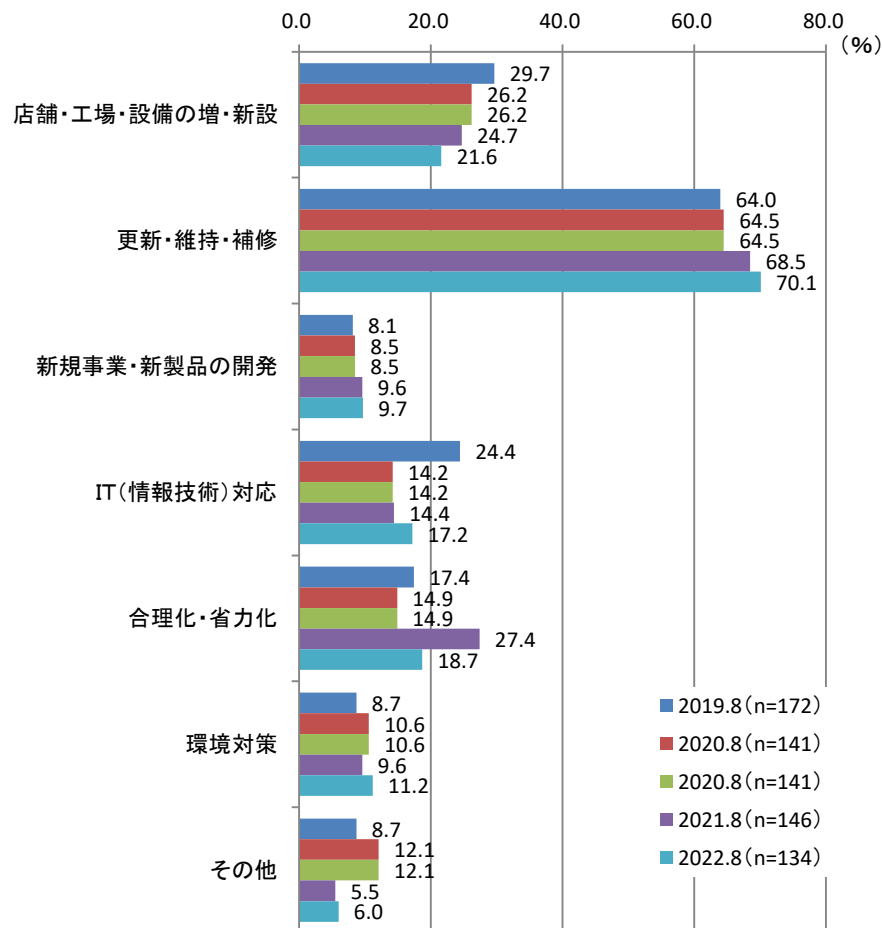
1社あたり平均投資額を地域別にみると、県北では9,690万円(昨年度調査比7,910万円増)、中央では7,650万円(同1,040万円減)、県南では6,690万円(同3,820万円増)となり、中央で減少した一方、その他の2地域では増加した。

(3) 設備投資目的

設備投資の主な目的について尋ねたところ（複数回答）、回答した企業の割合が最も高かったのは「更新・維持・補修」の 70.1%で、次いで「店舗・工場・設備の増・新設」が 21.6%で続き、以下は「合理化・省力化」（18.7%）、「IT（情報技術）対応」（17.2%）、「環境対策」（11.2%）、「新規事業・新製品の開発」（9.7%）の順となり、前年の第 2 位と第 3 位の項目が入れ替わるなど、順位に変化が見られた。

投資目的別に割合の推移をみると、「その他」を除く項目のうち、2 位の「店舗・工場・設備の増・新設」と 3 位の「合理化・省力化」で前年に比べて割合が低下した一方、1 位の「更新・維持・補修」や 4 位の「IT（情報技術）対応」など他の 4 項目では割合が上昇している。

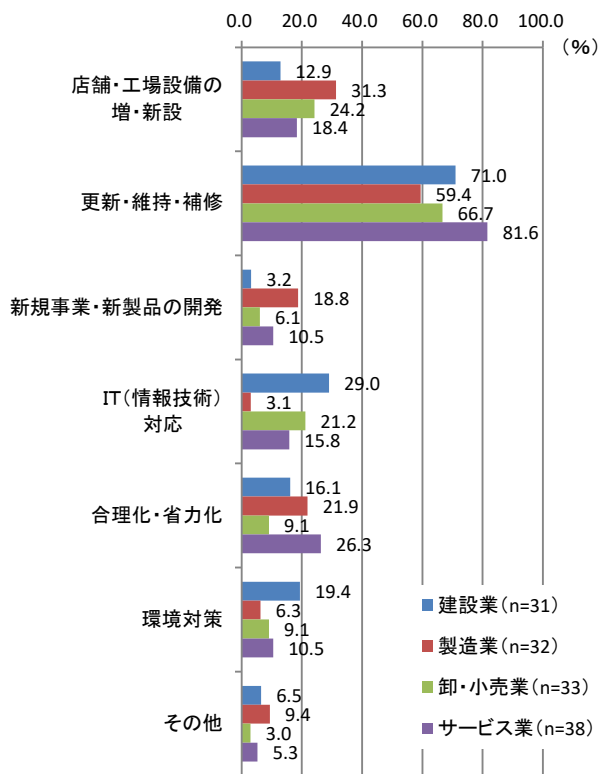
図表 22 「設備投資の目的」の推移（複数回答）



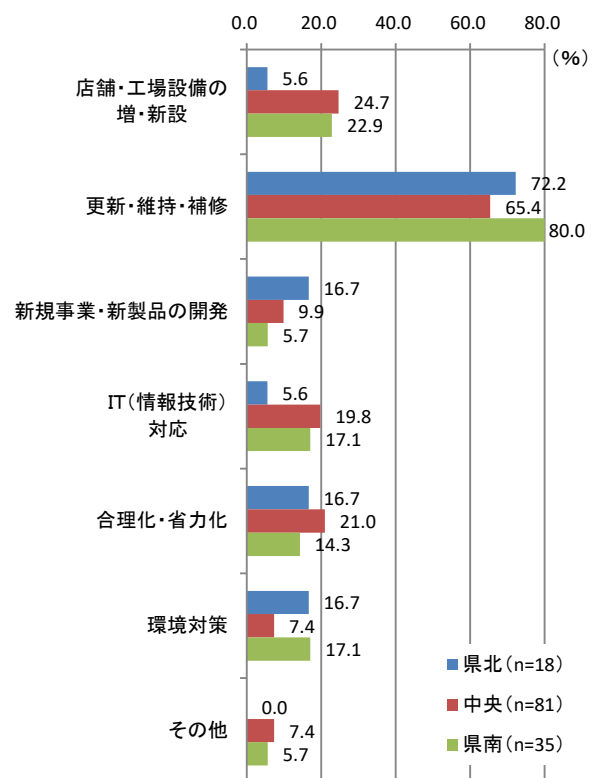
業種別にみると、「更新・維持・補修」と回答した企業の割合はサービス業で8割台となるなど、すべての業種で最も高くなっている。これに続く設備投資の目的は、建設業では「IT(情報技術)対応」、製造業と卸・小売業では「店舗・工場設備の増・新設」、サービス業では「合理化・省力化」となるなど、業種によって違いが見られた。

地域別にみても、すべての地域で「更新・維持・補修」と回答した企業の割合が最も高くなっている。

図表 23 業種別「設備投資の目的」の推移（複数回答）



図表 24 地域別「設備投資の目的」の推移（複数回答）



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	22	17	24	19	82
中央	64	50	67	77	258
県南	36	50	40	21	147
合計	122	117	131	117	487

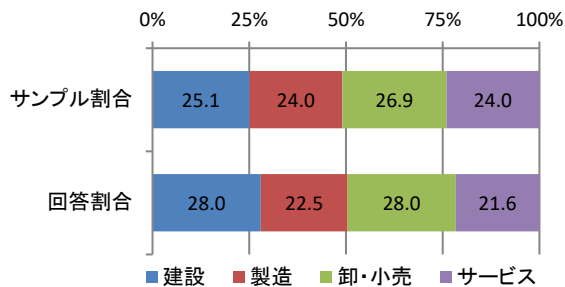
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	18	13	20	12	63
中央	53	34	50	48	185
県南	26	31	27	15	99
合計	97	78	97	75	347

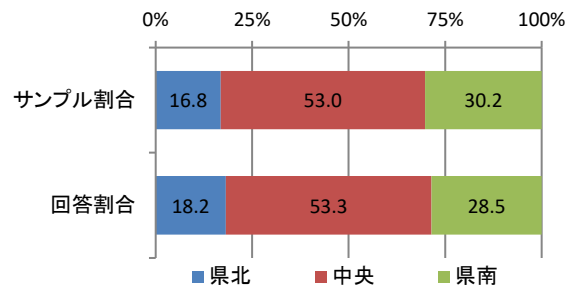
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	81.8	76.5	83.3	63.2	76.8
中央	82.8	68.0	74.6	62.3	71.7
県南	72.2	62.0	67.5	71.4	67.3
合計	79.5	66.7	74.0	64.1	71.3

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

2022年8月1日（月）～17日（水）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、湯上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製 (商) 品の仕入価格 (卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる。

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 秋田事業所 地域政策コンサルティング部 後藤/佐藤

・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 3F

TEL : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>